



市議会だより

しよらほら

第60号

■発行:令和元年8月20日

P.2 議会報告会
6月定例会

- P.4 主な議案
- P.6 補正予算
- P.7 議決結果
- P.8 一般質問
- P.14 会派構成・議員表彰
- P.15 政務活動費執行状況

令和
元年度

議会報告会を 開催しました



● 議会報告会の概要

本年度で9回目となる議会報告会を、7月3日から19日まで25会場で開催しました。開催にあたり、自治振興区や高校のご協力をいただき、議員は5班に分かれ、各班が4～5会場を受け持ち、会場に伺いました。議会報告会は、議会基本条例に基づくもので、市民の皆さんに日頃の議会活動を知っていただき、ご意見やご提言を直接伺い、議会運営の改善を図ることを目的としています。延べ585人の参加をいただきました。

● 当日の流れ

【議会活動報告】

総務常任委員会

● 公契約条例について

教育民生常任委員会

● 公共交通網の現状と課題についてなど

企画建設常任委員会

● 農業振興施策(WCS飼料用稲)についてなど

【意見交換】

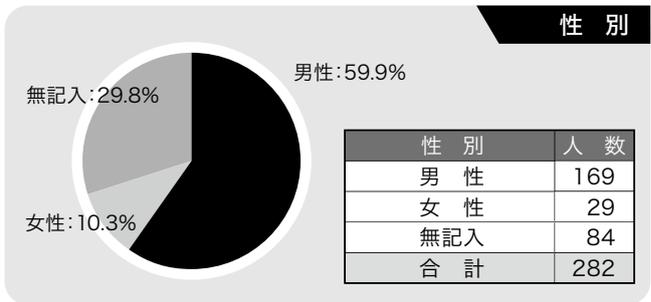
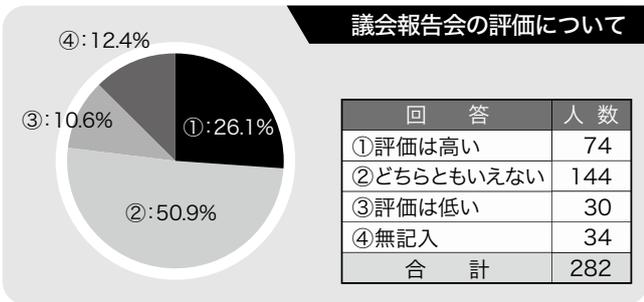
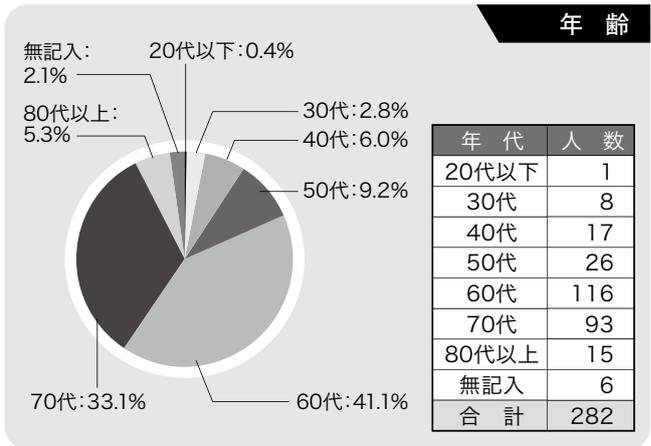
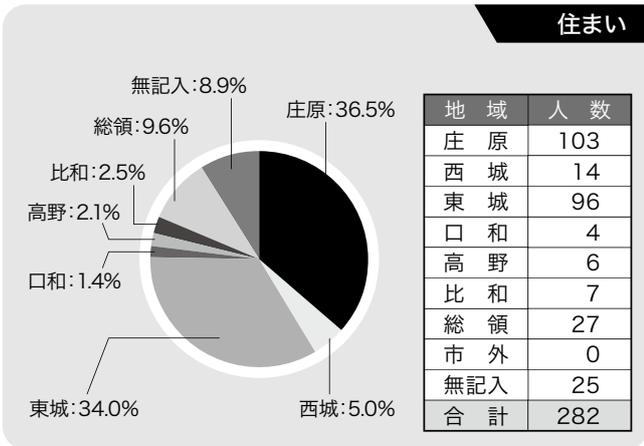
報告会でいただいた意見等は、臨時号(9月20日発行)でお知らせします。

地域	地区	開催日	会場	参加者数
庄原	庄原	7月9日(火)	庄原市ふれあいセンター	34人
	高	7月9日(火)	高自治振興センター	7人
	峰田	7月9日(火)	峰田自治振興センター	12人
	東	7月10日(水)	東自治振興センター	21人
	山内	7月10日(水)	山内自治振興センター	11人
	北	7月11日(木)	北自治振興センター	8人
	敷信	7月18日(木)	敷信地区民ふれあい広場	8人
西城	本村	7月19日(金)	本村自治振興センター	16人
	西城	7月8日(月)	西城自治振興センター	11人
	八銚	7月12日(金)	八銚自治振興センター	11人
東城	久代	7月3日(水)	久代自治振興センター	20人
	東城	7月5日(金)	東城自治振興センター	17人
	田森	7月10日(水)	田森自治振興センター	21人
	新坂	7月11日(木)	新坂自治振興センター	13人
	帝釈	7月11日(木)	帝釈自治振興センター	21人
	小奴可	7月16日(火)	小奴可自治振興センター	9人
	八幡	7月18日(木)	八幡自治振興センター	27人
口和	口和	7月16日(火)	口和自治振興センター	8人
高野	高野	7月11日(木)	上高自治振興センター	10人
比和	比和	7月17日(水)	比和自治振興センター	10人
総領	総領	7月8日(月)	総領自治振興センター	34人
高校会場		7月8日(月)	西城紫水高校(3学年)	29人
		7月10日(水)	庄原実業高校(3学年)	102人
		7月12日(金)	庄原格致高校(2学年)	97人
		7月16日(火)	東城高校(3学年)	28人
合計				585人

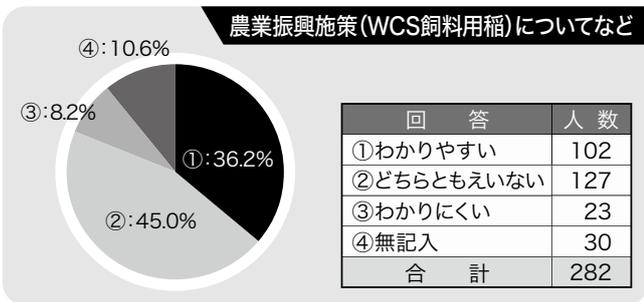
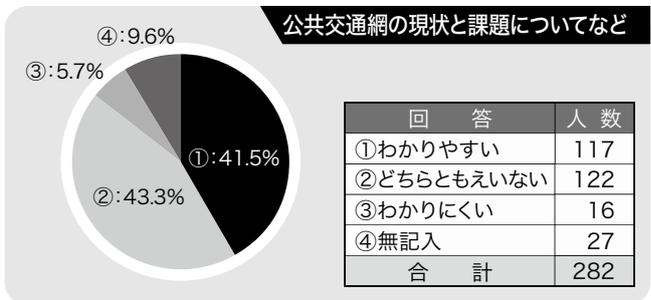
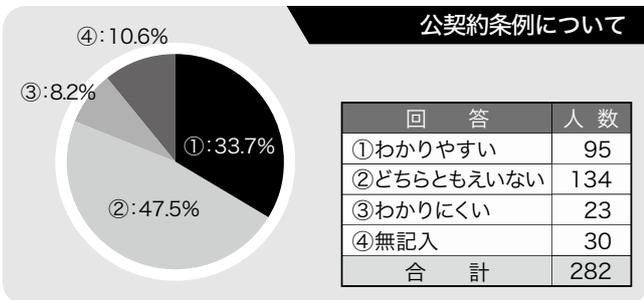
会場で配布回収した議会報告会アンケートから

※高校会場を除く

回答総数: 282人 (回答率: 85.7%)



報告内容について



議会報告会の開催、
並びにアンケートにご協力いただき
ありがとうございました。

庄原市議会についてのご意見 抜粋

- 行政のチェックをしっかりとってほしい。
- 積極的な議員提案を行ってほしい。
- もっと地元を回って意見を聞いてほしい。

議会報告会の内容について(意見・要望) 抜粋

- 議員個人の顔が見えることが議会への興味につながると思うので、続けていくのは良いと思う。
- 地元の議員が1人は出席してほしい。
- 出身地域以外の議員の顔が見えるのは良いと思う。
- 意見交換は有意義であるとの意見が伝われば参加者が増えるのではないかと。地域の課題や意見を聞く場を増やすことで知恵が出るのではないかと。

令和元年6月定例会

会期／6月10日～27日【18日間】

一般会計補正予算など議案10件、請願1件、発議4件を審議しました。

主な議案

議案第84号
庄原市子育て支援施設設置及び管理条例の一部を改正する条例

庄原市庄原子育て支援施設（庄原ひだまり広場）の移転に伴い、所要の改正を行おうとするもの

▽原案可決

議案第85号
工事請負契約の締結について

庄原市一般廃棄物処理施設建設工事（設計・施工一括）の請負契約を行うに当たり予定価格が1億5,000万円以上であるため、議会の議決を求めるもの（請負金額36億6,300万円）

▽原案可決

議案第86号
工事請負契約の締結について

庄原市立西城保育所改築工事の請負契約を行うに当たり予定価格が1億5,000万円以上であるため、議会の議決を求めるもの（請負金額5億3,900万円）

▽原案可決

議案第87号
字の区域の変更について

平成28年度、29年度に総領地域で実施した地籍調査事業において、飛び地など錯綜している字界を分かりやすい字界に変更するため、地方自治法に基づき、議会の議決を求めるもの

▽原案可決

人事

議案第83号
庄原市公平委員会委員の選任に同意を求めることについて

次の方が同意されました。

東城町 松木 茂穂 氏

請願

請願第1号

主要農産物（米・麦・大豆）種子法の廃止に際し、国民の食の権利と食の安全を守るために、公共財としての農産物の種子を保全する新たな法整備や条例整備と施策を求める、意見書の提出を願う請願

竹松 隆司 氏
福山 権二 氏
企画建設常任委員会
員会

意見書

3件の意見書が可決され、関係省庁へ提出し、その実現を図るよう求めました。

発議第4号
地方財政の充実・強化を求める意見書

1. 社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保をはかること。

ほか9項目

発議第5号
新たな過疎対策法の制定に関する意見書

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持されることは、同時に、都市をも含めた国民全体の安心・安全

な生活に寄与するものであることから、引き続き総合的な過疎対策を充実・強化させることが必要であるため、新たな過疎対策法の制定を強く要望する。

発議第6号
教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

1. 計画的な教職員定数改善を推進すること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。

決議

発議第7号

庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画調査特別委員会設置に関する決議

庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画に関し、必要な調査研究を行うための特別委員会を設置する。

▽否決

● 特別委員会を設置して調査をする？しない？

議 決
第 7 号

庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画 調査特別委員会設置に関する決議



● 特別委員会は、特定の事件（当該自治体が抱えている重要な案件、複数の常任委員会の所管事項にまたがる案件、議会が特に必要と認める事件）について設置される委員会です。



赤木忠徳議員ほか3名から
特別委員会設置の提案

- 委員数：議長を除く議員 19 人
- 付託事項：庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画に関する調査
- 調査期間：設置の日から調査が終了するまで
- 提案理由：これは庄原市、地域にとっても大きな問題。児童生徒にとって通学の時間的制約や身体的負担、地域の活性化、財政負担、未利用施設の管理など、教育民生常任委員会のみならず、全ての常任委員会に係わる課題がある。将来、当時の議員は、真剣に調査、検討、討議して決定したのかと言われることのないよう、特別委員会の設置を提案する。

この提案に対して、議員6人が賛成・反対の立場から討論をしました。

	議員名	討論内容(要旨等)
賛成 賛成討論 (特別委員会の設置に賛成)	谷口 隆明 (教育)	現在、様々な立場の市民の方が自主的に学習会をしたり、教育委員会に説明を求めたりされている。その市民の代表である議会が、最後の学校設置条例の改正まで、一切何もしないで市民の負担に応えられるのか。議員間でしっかり討論を深めて、全体として認識を深めていく必要がある。本件は、明らかに2つ以上の常任委員会の所管に属する事件で、住民の関心も非常に高く、行政全般にわたる総合的な施策と密接不可分であり、特別委員会設置の条件が全てそろっている。この特別委員会であらゆる点をしっかり調査をして、議会としての総合的な考え方を示すことが必要。
	福山 権二 (総務)	庄原市議会基本条例では、議会内の討論を重視し、執行者提案に対する徹底した議会内討論を尽くして議会の意思を決定するとしている。しかし、本計画に対する議会内の議論は不足している。各議員の見解に相違があるのは当然だが、総合的な情報の把握ができていない。この課題を集中して議論するための特別委員会を設置し、市民意見も把握し、議会内討論を責任あるものとするのが不可欠。
	門脇 俊照 (企画)	平成28年の5月に、この検討委員会を立ち上げ、6ヵ月後の12月には結論を出された。本市の小学校19校、中学校7校、これら全ての学校を網羅して、内容、地域の事情等々を加味して協議をされたのか。特別委員会を設置しなければ、教育民生常任委員会の委員以外の議員は、傍聴しかできない。
反対 反対討論 (特別委員会の設置に反対)	徳永 泰臣 (教育)	既に教育民生常任委員会で、その計画に基づいて統合を進めることも含めて精力的に調査すると決めた。提案の特別委員会の議員19名では多過ぎて、調査、議論が深まらない。
	坂本 義明 (教育)	教育委員会は、強引に進めることはないという確約をされている。もちろん前提として保護者と地域の人ともしっかり話をしながら進めていく必要がある。教育民生常任委員会でも、今から地域や学校を尋ね、意見を聞いてみようという議論をしている。教育民生常任委員会で調査をすると決定したので、それに基づいて進めるのが肝要だと思う。
	五島 誠 (教育)	今回の特別委員会の提案では基本計画の調査とされているが、教育民生常任委員会では、そのさらに一歩先のところまで含めて議論をするとしている。それと議論はするだけでなく、しっかりと深めていくことが大切。しっかりと具体的に踏み込んだ議論をしていくことが大切だと思うので、教育民生常任委員会でさせていただきます。

※()は所属委員会。(総務)総務常任委員会、(教育)教育民生常任委員会、(企画)企画建設常任委員会
各常任委員会は委員6～7名で構成されています。

採決の結果、賛成7人、反対12人の反対多数で特別委員会設置の提案は否決となりました。

その後の「日程第14 閉会中の継続調査」において、教育民生常任委員会から申し出のあった「教育条件整備について(学校適正規模・適正配置ほか)」を可決し、庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画については、教育民生常任委員会で調査することとなりました。

一般会計・特別会計補正予算を 原案可決

一般会計

予 算 名	補 正 額	補正後の予算額
議案第88号 一般会計補正予算（第2号）	4億4,003万2千円	321億5,329万6千円

【主な補正内容】

補正額	事 業	主な内容
2億4,290万円	プレミアム付商品券事業	消費税率の10%への引き上げに伴い、国の政策により子育て世帯など特定の対象者へプレミアム付商品券の販売を行う事業。
924万7千円	保育所管理運営事業	10月から導入される幼児教育無償化に対応するための子育て支援システムなどの改修。
3,680万6千円	災害防除事業	国からの交付金の配分により、市道庄原高線と高板橋線ののり面保護工事を追加。
6,972万1千円	土地区画整理事業	国の交付金の内示に合わせ、県道駅前新庄線整備工事に伴う足洗川の付け替え工事や下水道移設補償に要する経費などの増額。
320万5千円	防災対策事業	避難所用の災害備蓄品（段ボールベッドや毛布）の購入費など。
317万1千円	教育振興事業	中国四川省綿陽市への青少年訪問（11名）に係る経費と県の委託事業である道徳教育総合対策事業等に要する経費の追加。

一般会計補正予算（第2号）では、3人の議員による討論がありました。（要旨等）

反対討論 五島 誠 議員

プレミアム付商品券は過去にも実施したが効果について疑問がある。今回、低所得者の購入について、効果は限定的であり、プライバシー配慮の懸念事項もある。子育て世代に対しても対象期限により不公平感が生じる。業者、行政にコストなどの負担も生じることから反対する。

賛成討論 横路 政之 議員

プレミアム付商品券は、消費税が10%にアップするための対策。過去、消費税が8%にアップの際には、対策をしなかったため消費が落ち込んだ。どうすれば買い控えが起こらないようにするかが重要。この商品券事業は効果があると考えて、補正予算に賛成する。

反対討論 吉方 明美 議員

このプレミアム付商品券のメリットは4,500万円とそれに係る諸経費は6,290万円。費用対効果の面からも納得できない。諸経費の国費も私たちが税金で払っている。手続上の配慮不足や煩雑さにも問題がある。5,000円のために、このような負担をかけるべきではない。景気対策にもつながらないので反対する。

- 議案第88号 採決の結果 賛成16人、反対3人、賛成多数で原案のとおり可決しました。

特別会計

予 算 名	補 正 額	補正後の予算額
議案第89号 公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	▲6,012万5千円	11億171万6千円
議案第90号 農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	315万9千円	3億7,201万1千円
議案第91号 水道事業会計補正予算（第1号）	(収益的支出) 734万3千円	11億7,910万8千円
議案第92号 比和財産区特別会計補正予算（第1号）	37万8千円	418万2千円

平成30年度国の2次補正予算により措置された、庄原処理区のマンホールポンプ場改築工事費、総領浄化センターの汚泥掻き寄せ機改修工事請負費などの減額。

国の交付金内示額増に伴う西城地域大佐地区、八鳥地区の長寿命化に係る機能強化計画概要書作成業務委託料など。

豪雨災害等の対応により平成30年度に業務発注ができなかった庄原市水道(高野地区)給水計画検討業務委託費用など。

比和町三河内越原山の作業道における崖崩れの落石除去や陥没修繕する業務委託料。

- 議案第89号～第92号 採決の結果 全員賛成で原案のとおり可決しました。

令和元年6月

定例会議決結果

賛成全員のもの

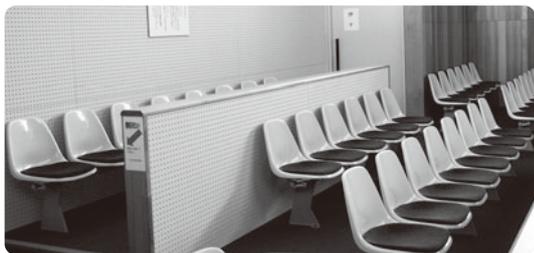
議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
6月10日	議案	84	庄原市子育て支援施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決
		85	工事請負契約の締結について	原案可決
		86	工事請負契約の締結について	原案可決
		87	字の区域の変更について	原案可決
6月27日	議案	83	庄原市公平委員会委員の選任に同意を求めることについて	同 意
		89	令和元年度庄原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		90	令和元年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
		91	令和元年度庄原市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
		92	令和元年度庄原市比和財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決
	発議	4	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
5		新たな過疎対策法の制定に関する意見書	原案可決	
6		教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決	

賛否の分かれたもの

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果	賛成(人)	反対(人)	岩山泰憲	田部道男	山田聖三	五島誠	政野太	近藤久子	堀井秀昭	宇江田豊彦	福山権二	吉方明美	林高正	桂藤和夫	徳永泰臣	坂本義明	岡村信吉	赤木忠徳	門脇俊照	竹内光義	横路政之	谷口隆明	
6月27日	議案	88	令和元年度庄原市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	16	3	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	発議	7	庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画調査特別委員会設置に関する決議	否決	7	12	○	×	×	×	×	×	×	議長	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	

(表示例) ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議長…議長職 棄…棄権

傍聴のご案内



本会議、委員会は、どなたでも傍聴できます。議場や委員会室は市役所本庁舎5階です。お気軽に傍聴においでください。

皆さまのご意見をお聞かせください!

庄原市議会では市議会に対するご意見や議会だよりのご感想等を電話、ファックス、Eメールで受け付けています。皆さまのご意見等をお聞かせください。

【お問い合わせ先】

庄原市議会事務局
TEL 0824-73-1162・FAX 0824-73-1246
Email gikai@city.shobara.lg.jp

一般質問

6月定例会では、11名が一般質問を行いました。
この記事は、要旨をまとめたものです。



答 高齢者への支援に関しては、アンケート調査において、「気分が沈んだり、憂鬱な気持ちになったことがある」と回答した割合が、一般高齢者36・6%に対し、要支援高齢者は58・2%となっており、要支援の高齢者に「うつ」傾向が高い。要支援高齢者は、健康状態の変化や配偶者・友人を失う喪失体験などにより、うつ状態になりやすいことから、個別ケア会議での対応、ケアマネージャー・介護事業所との情報共有のほか、民生委員、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員との連携に努め、引き続き個々の状態に応じた相談支援と見守り支援に取り組んでいく。

問 「うつ」の傾向が高い要支援高齢者への支援について

いのち支える
庄原プランについて



こんどう ひさこ 議員
近藤 久子

その他の質問
○学校適正配置計画について



本庁舎の特定屋外喫煙場所を表す標識

答 第一種施設では、受動喫煙の防止措置を講じた屋外の喫煙場所を除き、敷地内禁煙の規定が適用されるが、市が設置・管理している学校、児童福祉施設、病院、診療所は、その多くが既に敷地内全面禁煙としており、未実施の1施設についても今後同様に取り扱う予定としている。なお、支所を含めた市の庁舎については、法律の定めに沿い、受動喫煙の防止措置を講じた屋外場所を設けるとともに、その場所以外での喫煙を禁じている。

問 市役所庁舎を含む第一種施設の取り組みは。

望まない
受動喫煙防止対策について

一般質問



よころ まさゆき
横路 政之 議員

自転車保険加入の促進を
求める取り組みについて

問 全国では、自転車が関わる高額賠償を伴う事故が相次いでいる。自転車保険加入の義務化や促進を求める条例を制定した自治体は広がりを見せている。本市として自転車保険についてどう考えるか。

答 自転車安全利用条例は全国88の自治体が制定しており、広島県内では三次市が制定している。各自自治体が独自条例を制定することの意義はあると考えるが、被害者の救済や加害者の負担を考慮すると、市民を対象とした条例の枠にとどまらない、強制的な保険加入の法制化について、議論を進めていくことが必要ではないか考える。

地区防災計画について

問 災害時の避難方法などを自ら立案する「地区防災計画」が創設された。①今後、各地で地区防災計画の策定が進むことが本市全体の災害対応能力向上に繋がると思うがどうか。②災害時に乳児にすぐ飲ませることができる国産液体ミルクを備蓄する自治体が増えている。本市として導入の考えを伺う。

答 ①地区防災計画では、住民や事業者の自発的な防災活動に関し、避難訓練や物資・資材の備蓄、居住者の相互支援などを定めることとなっている。この計画の策定過程において、住民が居住する地域の安全性や危険性を点検し、防災や避難に関する自覚を高め、住民相互の助け合いの意識を醸成されることとなるので、地域防災の強化に有効な計画であると考えられる。②液体ミルクはお湯が不要で、常温での授乳が可能のため、災害時に有効な有効な物資である。本市においても、一定程度購入・備蓄を考慮しており、今後は乳幼児健診や新生児訪問の際に紹介し、家庭でも確保していただくよう呼びかけていく。

その他の質問
ふるさと納税返礼品について



まさの ふとし
政野 太 議員

本市の教育振興について

問 地域、社会、家庭、学校等が子どもを育成を図ることを目的とした「学校運営協議会(コミュニティ・スクール)」を設置する自治体が急増している。本市においても平成29年12月定例会において、設置に向けた検討の余地があるとされたが、その後の検討をされたのか、またその必要性について教育長の見解を伺う。

答 コミュニティ・スクールの設置については、これまでも何度か検討してきたが、本市では「学校評価員制度」や「学校関係者評価」の活動などが同じような役割を担っており、学校の取り組みについて、評価も含めた意見交換を行っている。学校運営協議会の設置が努力義務となっており、これらについては理解しているが、これらの活動がうまく機能していることなどもあり、慎重に検討している。お問い合わせ先は、

新たな観光施策のあり方について

問 ①第2期庄原市観光振興計画にある「合宿の誘致の推進」について具体的な考えを伺う。②「スポーツ文化ツーリズム」の施行推進にあたり、本市にある運動公園、スキー場等の資源を活用した観光振興について市長の見解を伺う。

答 ①第2期庄原市観光振興計画では、宿泊消費額の増加を目指す「里山ステイの推進」に取り組みすることとしており、体験型教育旅行の誘致や滞在プランの構築のほか、自然環境やスポーツ施設、宿泊施設の特性を生かし、スポーツ合宿をはじめ企業研修、勉強合宿など、多様な合宿の誘致に取り組んでいく。②本市には、豊富なスポーツ施設や、恵まれた自然環境など、特色ある観光資源があり、「スポーツ文化ツーリズム」の開発や育成についても大いに可能性があると感じている。今後は観光関係者がスポーツ・文化などさまざまな団体と連携し、本市の強みを生かした滞在プランの構築、そして観光消費額の向上に努め、地域経済の活性化を図る。

その他の質問
人口減少時代に向けた自治体運営について



かどわき としてる 門脇 俊照 議員

高齢者が安心して運転できる
まちづくりについて

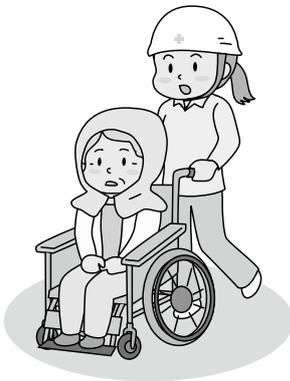
問 高齢者が一日でも長く安全安心で運転できる庄原市独自の環境を考えてはどうか伺う。

答 本市では、平成26年度から毎年、支所管内または自治振興区の区域を対象とした「高齢者交通安全モデル地区」を設定し、市を含む交通安全の推進団体と地域の連携による高齢者の事故防止活動に取り組んでいる。具体的な内容は、夜間の歩行時における反射たすきやシールの使用促進、全席シートベルト着用の徹底、安全運転サポート車の体験などである。今後もこうした活動を推進し、高齢者が無事故で運転できる地域づくりに努める。

災害時の避難行動について

問 高齢者、要介護者、障害者の避難誘導、避難について伺う。

答 高齢者や障害のある方など、自力での避難が困難な方について、まずは家族の支援、次に地域の皆さんにご協力をお願いしている。しかし、過疎化・高齢化などの進行に伴い、支援していただく協力者不足・不在が課題となっており、自主防災体制の充実、消防団への協力要請など、より安全・確実な避難行動の支援に、引き続き取り組んでいく。また、市が開設した避難所での対応が難しいと判断した方については、ケアマネージャーとの連携により、高齢者施設に一時的な受け入れをお願いした例もあり、事前の調整を含め、個々の世帯状況に応じた対応に努める。



さかもと よしあき 坂本 義明 議員

使用済み紙おむつの回収による
リサイクルについて

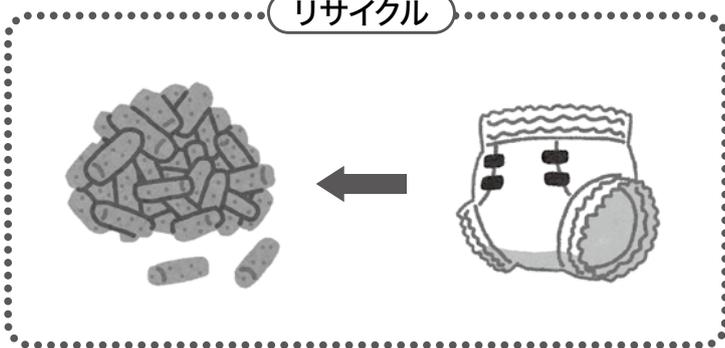
問 ①紙おむつはペレットボイラーの燃料にリサイクルできないのか。②ペレット燃料へのリサイクルについて回収業者等への委託による運営はできないか。またこれに対する補助金はあるのか。

答 ①使用済み紙おむつは、ほとんどの自治体で大半を一般廃棄物として焼却処分されているが、鳥取県伯耆町においては全国で唯一、使用済み紙おむつをペレット化し、ボイラー燃料に使用する取り組みがなされている。平成22年度に実証実験を開始され、様々な試行を経て、現在、町営温泉施設の燃料として使用されているが、紙おむつのみでリサイクルしたペレットは高カロリーなため、ボイラーに与える負荷が大きく、専用のボイラーが必要であることに加え、技術的な改良が必要であることなどから、

費用負担が大きいなどの課題を伺っている。

②鳥取県伯耆町においては、再資源化するための使用済み紙おむつ燃料化装置とペレット成形機の運転管理や紙おむつの収集を町内の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託されている。本市においても、同様に委託は考えられるが、技術面や費用対効果において課題があると認識している。なお、施設整備経費に対する補助制度は、広島県廃棄物抑制・リサイクル施設整備補助金の対象となると考えている。

リサイクル



一般質問



徳永 泰臣 議員

比婆山連峰の活用について

市長は、比婆いざなみ街道として打ち出され、「日本誕生の女神イザナミが眠る比婆の山」の発売など当初は力を入れられていたが、比婆山神話はあまり広がっておらず、もっと世の中に広める必要があると思うが、どのように認識され、取り組みをされるのか伺う。

本市では、平成28年度から「比婆いざなみ街道物語事業」に取り組んでおり、この事業の一環として比婆山振興、植生などの自然、歴史的背景などを調査した解説書「日本誕生の女神」を出版した。また、イザナミ神話の道を歩くトレッキングツアーの開催や古事記を紹介する紙芝居の上演、ガイドツアーの実施など、徐々に認知度も高まっていると認識している。本年度は、時悠館において企画展の開催や比婆山学講座、「いざなみと塾」の開催など展開していくほか、「マラニック」

などの比婆いざなみ街道物語事業や、イザナミ神話を紹介する観光ツアーなど、比婆山・熊野神社をはじめとする地域資源の魅力を発信していく。

比婆山御陵の門梅やイチイ群生林等の保存について

比婆山御陵にあり、御陵入口にある門梅を含む「比婆山のイチイ群」として、約100本が市の天然記念物となっているが、このイチイ群がミズナラ、ブナなど高木林の繁茂により日陰となり、急激な速さで枯れていっている現状をどのように把握され、今後どのように保存に向けて取り組みをされるのか伺う。

比婆山御陵にはイチイの木が群生しており、近年、門梅の木が弱っていることが確認され、文化財保護審議会の指導を受けながら保存措置を実施している。周辺の広葉樹が成長したことによる生育不良との指摘があったが、同地内が国の天然記念物「比婆山のブナ純林」の指定地でもあり、文化庁や広島県との協議・調整が必要となる。今後はイチイ等の保存について、専門家や関係機関と慎重に協議を進めていく。

その他の質問
○庄原版DMOの設立について



吉方 明美 議員

ごみの分別を徹底し、焼却ごみを削減する取り組みを進めることについて

焼却ごみの中に異物混入という事例はないか。金属探知機は活用されているのか。またプラごみによる環境汚染が問題となっている。よりリサイクルを進める必要があるが、リサイクル用のごみ袋の値段を下げることで分別へ誘導できるのではないか。

ごみの適正な分別については、市民の皆様のご協力によることであるが、一部の焼却ごみの中には空き缶や針金などの異物の混入が見受けられ、ごみまわし、やかんや座椅子の骨格などが混入していたこともある。備北クリーンセンターでは、焼却ごみを搬入される方に対し、適正な分別を促すとともに、昨年より金属探知機を活用した異物混入検査を実施している。
②現在、ごみ処理手数料は、ごみ処理経

費の15%を目安として設定している。ごみ袋の値段を容量で換算すると、燃えるごみの袋は100リットル当たり118円、容器包装プラスチックの袋は90円となり、現在でも容器包装プラスチックの袋が安価となっており、リサイクル推進を図る料金設定としている。

地域・自治会組織強化の取り組みについて

市長は、本市への移住・定住に積極的に取り組んでおられる。新たに本市へ居住される方たちとともに地域づくりを進めていく必要があるが、自治会への加入についてどう対応しているのか。加入するか否かは本人任せ・地域任せなのか。

市では、新たに一戸建て住宅や集合住宅等に入居された方には、転入届を提出された際に、自治会への加入案内チラシを配布し、加入促進を図っている。また、定住を目的に住宅の新築、空き家改修などの市補助金を活用される方へも自治会活動への参加承諾をいただくなど、加入促進に取り組んでいる。現状では、自治会の加入は任意であるため、すべての加入には至っていないが、先進的に取り組んでいる自治体の事例を参考に検討を行う。

一般質問



谷口 隆明 議員

水道事業の広域化について

問 水道のあり方は、議会、市民も参加し議論を尽くして決めることが重要ではないか。

答 水道事業の広域化については、現在、「広島県水道広域連携協議会」で検討・協議中であり、「水道広域連携計画」の、今年度内での策定をめざしている。水道事業者は、将来にわたって、安全・安心な水を、適切な料金で安定的に供給することが使命であることから、広域連携のあり方については、地域の実情を踏まえながら判断していく。協議会での検討状況については、適宜、議会や市民の代表などからなる「庄原市上下水道運営協議会」に報告することも、「ご意見を伺いながら、引き続き丁寧な検討、協議に努める。」

「国連家族農業10年」と
具体化について

問 「家族農業の10年」は本市でこそ具体化すべきだ。地方独自の農業支援策を進めることが、雇用の拡大、人口流出の歯止め、定住対策の要になると考えるが、市長に伺う。

答 本市において、農業への就業問題の課題解決に繋げることは極めて重要である。農業分野における担い手の育成・確保対策では、関係機関と連携した情報提供や、栽培技術指導などを行っているほか、市独自事業である新規就農者総合支援事業や農林施設整備事業による支援も行っている。林業分野では、これまで国の支援策である「緑の雇用」制度の活用により森林組合や民間事業者への雇用促進を図ってきた。今後も既存の支援策を活用し雇用を促進しつつ、林業経営者の育成確保につながる施策を研究し、国県制度の活用や市独自の支援策により、本市の基幹産業である林業の振興に努め、定住対策にも取り組んでいく。

その他の質問
○庄原市の地域いっしょと学校再配置
について



五島 誠 議員

起業支援について

問 ①補助金や窓口も大切であるが、起業環境の整備や起業者の士気のつながりづくり、中高生も含めた市民啓発が重要と考えるが所見を伺う。②本市の起業支援の今後の展望について伺う。

答 ①起業しやすい環境を整備するため、商工林業課にフンストップ窓口を設置しており、今後商工団体や関係機関と連携し、起業者同士のつながりが持てる意見交換や情報共有の場を提供していく。また、中高生を含めた市民の皆さんが、起業に関心を持つような情報発信や、民間団体等が主催する起業セミナーなどへの起業希望者の参加促進を通じて、起業に関する啓発に努める。
②起業を促進していくためには、高い志や情熱を持ち、起業に対する機運が醸成されるよう、官民連携した情報収集や情報発信が必要であると考えている。

今後は、補助制度の効果を検証することで、起業者がより活用しやすい制度となるよう、市内商工団体や関係機関と連携して、需要の把握や制度の見直しを行うとともに、起業者同士の情報共有や情報発信ができる場を作っていくことで、起業しやすい環境を整備し、本市における起業をより一層促進していく。

その他の質問
○農産物などの輸出について
○庄原市立学校適正規模・適正配置
基本計画について



商工林業課に設置している庄原市創業相談総合窓口

一般質問



いわやま やすのり
岩山 泰憲 議員

比和中学校、総領中学校、高野中学校や川北小学校などの統廃合の計画中止について

問

本市において、比和中学校、総領中学校、高野中学校や川北小学校などの統廃合計画を進めているが、国の指導では、地域の実情や地域の声を尊重し、丁寧な説明をして皆さんの理解を得られる計画を作り、細やかな説明をするようにしている。本市の場合、教育委員会で検討委員会を立ち上げ、先に方針を決めてから地域に説明している。このことが問題である。①そこで、市内各地で教育委員会の計画案を説明されていると思うが、地域の反応はいかがか伺う。②住民の同意が得られない統廃合計画は中止にすべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

答

①市全体の児童生徒が減少し続けている状況の中、子供たちが多様な考えに触れ、お互いを認め

め合い切磋琢磨し学び合える、より良い教育環境をつくるために適正規模・適正配置計画を策定した。この計画は、保護者代表や地域の代表、学識経験者などで構成した「適正配置検討委員会」で、市内の学校実態や様々なデータなどの資料も踏まえ、協議を重ね、提言いただいたことを基本に策定している。現在、第1グループとなつている対象校の保護者を中心として説明・協議を重ねている。その中で、「統合への不安や心配があることを理由に反対である」「これからも児童生徒が減少し続けることを考えるとやむを得ない」「子供にとつての学習環境を考えれば賛成である」、など様々な意見が出されている。

②今後も異なる背景や価値観を持つ多様な考えに触れ、お互いが学び合う積極的なコミュニケーション能力を培うことや、子供同士の学びを関連付けて深く考え合うことが、より一層求められている状況を説明し、今回の適正規模・適正配置計画が、子供たちを育み、より望ましい教育環境をつくるために行うということを理解していただけるよう、協議を重ねていく。



ふくやま けんじ
福山 権二 議員

第2期庄原市定員適正化計画について

問

2014(平成26)年に策定した第2期庄原市定員適正化計画が令和3年に最終年を迎えるが、この計画の実施状況と今後の定員適正化の方向性について伺う。

答

庄原市定員適正化計画(定員マネジメントプラン)は、平成26年3月に策定し、令和3年4月1日の目標職員数を513人と定め、事務事業の見直しや任用形態の活用などの取り組みを進めている。一方で新たな行政需要も生じ、平成30年度では、プランの目標職員数519人に対し524人となるよう調整し、人員確保に努めた。今後の定員適正化の方向性について、新たな事務の発生など、実態に著しい差異が生じた場合には、目標職員数の見直しも可能としており、プランの目標年度の見直しも念頭に置き、行政サービスの提供水準を低下

させることのない、効果的・効率的な組織機構の構築に努めていく。

第2期庄原市長期総合計画(前期)の達成度について

問

2016(平成28)年に策定した第2期庄原市長期総合計画は、来年度で前期を終了するが、現時点で林業振興関連の目標設定の達成度について伺う。

答

第2期庄原市長期総合計画における、林業振興関連の目標設定は、民有林における森林経営計画認定面積の割合と、木の駅プロジェクト実施団体数を目標指標として掲げている。民有林における森林経営計画認定面積の割合は、平成26年度末5.4%であったものが、平成30年度末では9.2%となっており、2年後の令和2年度の中間目標である11%に向け、引き続き取り組んでいく。木の駅プロジェクト実施団体数は、平成30年度末では他地域での団体設立までには至っておらず東城地域の1団体のみとなっている。しかし、一部の自治振興区において、薪の製造による地域密着型の林業活動も実施されており、既存の団体との連携による地域実情に応じた活動の広がりに向け、引き続き支援していく。

会派

会派とは議会の中で同じ考えや意見を持って活動する集まりであり、議員2人以上をもって構成されます。

市民の会

代表 福山 権二
副代表(事務局長) 吉方 明美
宇江田 豊彦

清風

代表 門脇 俊照
副代表 竹内 光義
事務局長 赤木 忠徳

ぎずな

代表 徳永 泰臣
副代表 桂藤 和夫
事務局長 山田 聖三

結

代表 坂本 信義
副代表 岡村 久吉
事務局長 近藤 秀昭

会派に所属しない議員

坂本 信義
岡村 久吉
近藤 秀昭
堀井 秀昭
政野 太

谷口 隆明
横路 政之
田部 道男
岩山 泰憲

令和元年6月12日現在

表彰

次のとおり表彰等が行われました。功績をたたえ、今後の活躍を祈ります。

第144回中国市議会議長会 定期総会における表彰

開催日 5月29日
開催地 山口県防府市

●議員特別表彰
議員28年以上

堀井 秀昭

議員16年以上

赤木 忠徳



代表挨拶 谷口隆明副議長

第95回全国市議会議長会 定期総会における表彰

開催日 6月11日
開催地 東京都

●議員特別表彰
議員25年以上

宇江田 豊彦

議員20年以上

谷口 隆明

●議員一般表彰
議員15年以上

赤木 忠徳

●議員10年以上

坂本 義明
徳永 泰臣
近藤 久子

●感謝状
社会文教委員会副委員長

堀井 秀昭

平成30年度政務活動費収支報告について

政務活動費は、議員の調査研究活動に必要な経費の一部として、会派又は会派に所属しない議員に、半期ごとに交付されます。各会派等は、収支報告書に領収書を添付し議長に提出しています。毎年、議長による内部監査を行い、透明性の確保に努めています。

提出された収支報告書や領収書等は、所定の手続きにより、議会事務局で閲覧することができます。収支報告書及び項目別集計表、各視察・研修の報告書は、市議会ホームページで公開しています。

収支報告総括表

【交付対象期間】平成30年4月～平成31年3月

(単位:円)

会派・議員	所属議員数	交付額	政務活動費項目別集計							会派議員負担分	会派議員負担分差引合計額	残余金返納額	
			研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	合計				
市民の会	3	1,080,000	511,710 (2件)	0	0	0	0	0	0	511,710	0	511,710	568,290
清風	3	1,080,000	25,702 (1件)	711,299 (3件)	0	0	0	0	0	737,001	0	737,001	342,999
きずな	4	1,440,000	450,452 (4件)	382,056 (3件)	0	0	532,698 (2件)	0	0	1,365,206	0	1,365,206	74,794
創政会	7	2,520,000	773,874 (5件)	0	0	46,008 (1件)	833,544 (1件)	0	0	1,653,426	0	1,653,426	866,574
谷口隆明	1	360,000	29,342 (2件)	0	0	15,746 (6件)		0	0	45,088	0	45,088	314,912
横路政之	1	360,000	63,317 (2件)	70,556 (2件)	0	19,440 (1件)		0	0	153,313	0	153,313	206,687
山田聖三	1	360,000	286,030 (5件)	59,764 (1件)	0	0		0	0	345,794	0	345,794	14,206
合計	20	7,200,000	2,140,427 (21件)	1,223,675 (9件)	0	81,194 (8件)	1,366,242 (3件)	0	0	4,811,538	0	4,811,538	2,388,462

交付額

- 会派の場合 月3万円 × 所属議員数
- 会派に所属しない議員 月3万円

支出項目の説明

項目	使 途 基 準	使途基準細目
研究研修費	研究会・研修会開催に必要な経費又は他の団体が開催する研究会・研修会に参加するために要する経費	会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、交通費、宿泊費等
調査旅費	調査研究活動に必要な先進地調査及び現地調査に要する経費	交通費、宿泊費等
資料作成費	調査研究活動に必要な資料の作成に要する経費	印刷製本費、コピー代、翻訳料、委託料等
資料購入費	調査研究活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	書籍代(電子書籍含む)、法規類の追録代、DVD等購入費、有料データベース利用料等
広報費	調査研究活動、議会活動及び市の政策について市民に報告し、PRするために要する経費 ※	印刷製本費、郵送料、会場費等
広聴費	市民からの市政・会派及び議員の政策等に対する要望・意見を聴くための会議等に要する経費	会場費、印刷製本費等

飲食に関するものや按分を伴う経費は対象としていません。

※広報費は、会派に所属しない議員については認めていません。

議会の動き

5・6・7月

5月

- 8日 議会運営委員会
- 16日 教育民生常任委員会
- 22日 総務調査会
- 23日 教育民生調査会
- 24日 企画建設調査会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 議員全員協議会
企画建設常任委員会
教育民生常任委員会

6月

- 3日 議会運営委員会
企画建設調査会
- 5日 教育民生常任委員会

- 10日 議会運営委員会
第3回市議会定例会 **初日**
議会運営委員会 その2
- 11日 企画建設常任委員会
教育民生常任委員会
- 12日 予算決算常任委員会
総務常任委員会
議員全員協議会
- 21日 第3回市議会定例会 **2日目**
- 24日 第3回市議会定例会 **3日目**
- 25日 第3回市議会定例会 **4日目**
総務常任委員会
教育民生常任委員会
企画建設常任委員会
- 27日 議会運営委員会
第3回市議会定例会 **最終日**

- 27日 企画建設常任委員会
議員全員協議会
議会広報委員会
- 28日 教育民生常任委員会(行政視察)

7月

- 8日 教育民生常任委員会
- 10日 企画建設常任委員会
企画建設調査会
- 17日 教育民生常任委員会(行政視察)
- 22日 教育民生常任委員会
- 30日 議会広報委員会
議会運営委員会

●行政視察受入状況【5月14日(火)】
兵庫県淡路市議会会派公明党・市民目線の会(火葬場施設の建設経過について)

9月定例会の主な日程(予定)

日にち	主な会議名
9月2日(月)	本会議
9月19日(木)	本会議【一般質問】
9月20日(金)	本会議【一般質問】
9月24日(火)	本会議【一般質問】
9月25日(水)	本会議
9月30日(月)	本会議

※予定のため、変更となる場合があります。
詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。
本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。
録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

庄原市議会 中継 検索



編集後記

平成23年度から議会報告会が始まって9年目を迎えました。その間、商業施設や高校でも開催してきましたが参加者の増加には至っておりません。「何故か」。愚直に努力して来ましたが、参加者からは「一方的な説明である」や「我々の意見を取り上げてくれない」などの意見があり、市民と議員の感覚にズレが生じて来ていたことに気づかされました。皆さんの意見により、市政を動かす事のできる議会に変革させ

ていく所存です。この「議会だより」も市民の皆さんが楽しみにお待ちいただけるよう、紙面の構成など工夫をしていきたいと思っております。9月には定例会議が開催されます、多くの傍聴をお願いします。
(赤木 忠徳)

議会広報委員会
委員長 谷口 隆明
副委員長 赤木 忠徳
委員 林 吉方 明美
坂本 高正
宇江田 義彦 豊彦

《表紙写真の説明》



(西城紫水高校)

報告会 高校会場

7月3日～19日、市内の各地域で議会報告会を開催しました。写真は高校会場の様子です。(表紙写真上段：庄原実業高校、中段左：庄原格致高校、中段右：西城紫水高校、下段：東城高校)

なお、報告会でいただいた意見等は、9月20日発行予定の「議会だより号外」でお知らせします。